

令和 2 年 3 月 16 日
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関するお知らせ

～配信資料に関する技術情報第 520 号の訂正について～

○配信資料に関する技術情報第 520 号の訂正について

標記関連技術情報について、現在配信されているプロダクトについての説明を充実させるため、「4. 提供するファイル名」を「4. 提供するファイルの仕様」に改め、内容を修正しました。また、「別紙 1」の「2. 予報期間の延長」の記載内容を修正します。

なお、現在配信されているプロダクトに変更はありません。

令和元年 9 月 30 日
令和 2 年 3 月 16 日修正
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する技術情報 第 520 号

～天気分布予報の詳細化等について～

気象庁では、天気分布予報について、これまでの 20 kmメッシュから 5 kmメッシュへの高解像度化や予報時間の延長などを行う予定ですので、お知らせします。

記

1. 実施時期

令和 2 年 3 月 18 日（水）11 時発表の予報より開始します。~~から実施する計画~~
~~です。詳細なスケジュールは、決まり次第お知らせします。~~

2. 変更内容

別紙 1 を参照願います。

3. データのフォーマット

データを記述するフォーマットは、国際気象通報式 FM92GRIB 二進形式格子点資料気象通報式（第 2 版）（以下「GRIB2」という。）に則っています。フォーマットの詳細は別紙 2 を参照願います。

4. 提供するファイル名の仕様

ファイル名	<p><u>Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_G115km_Jtenkibunpu_FHhh(-hh)_NJ###@@@_grib2.bin</u></p> <p>yyyyMMddhhmmss:発表日時 (UTC)</p> <p>(yyyy:西暦年、MM:月、dd:日、hh:時、mm:分、ss:秒)</p> <p>FHhh(-hh):予報時間。hh(-hh)は、5時予報時は01-43(1-43時間予報)、11時予報時は01-37(1-37時間予報)、17時予報時は01-31(1-31時間予報)となります。</p> <p>NJ###@@@:###は情報番号(本データは常に000)、@@@は訂正・訓練フラグ。訂正・訓練フラグは、通常はn00とし、発表した情報の内容に訂正がある場合には発表日時は変更せず、本フラグをc01、さらに訂正のある場合には順にc02、…、c99として訂正報を配信します)</p>
ファイル形式	GRIB2
格納要素	天気、降水量、降雪量、気温、最高気温、最低気温
予報時間等	<p>①5時予報、11時予報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の24時までの3時間毎(天気、降水量、降雪量、気温) ・今日日中(9時から18時)の最高気温 ・明日日中(9時から18時)の最高気温 ・明日朝(0時から9時)の最低気温 <p>②17時予報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の24時までの3時間毎(天気、降水量、降雪量、気温) ・明日日中(9時から18時)の最高気温 ・明日朝(0時から9時)の最低気温
作成頻度	1日3回(5時、11時、17時)
フォーマット	別紙2参照
ファイル容量	<p>5時予報:約550KB/回</p> <p>11時予報:約500KB/回</p> <p>17時予報:約400KB/回</p>

5. サンプルデータの提供

サンプルデータを（一財）気象業務支援センターを通じて提供しますので、必要な場合はご利用ください。

6. 従来から提供している天気分布予報について

従来から提供している天気分布予報については、2年間程度の並行配信の後、配信を終了する予定です。配信終了の具体的な時期については、決まり次第お知らせします。

7. 訂正履歴

令和2年3月16日

- ・「4. 提供するファイル名」を「4. 提供するファイルの仕様」に改め、内容を修正。
- ・「別紙1」の「2. 対象期間の延長」を修正

天気分布予報の変更内容

1. 高解像度化

全ての要素（気温、降水量、降雪量、天気）について従来の 20km メッシュから 5km メッシュへ高解像度化します。

2. 対象期間の延長

5 時及び 11 時発表の天気分布予報について、対象期間を現在の「24 時間後まで」から「翌日の 24 時まで」に延長し、明日日中の最高気温について提供を開始します。また、5 時予報については、明日朝の最低気温の提供を開始します。17 時発表は対象期間に変更はありません。

3. 各要素の変更事項

(1) 天気の種類の追加

天気は“晴れ”、“くもり”、“雨”、“雪”の 4 種類を提供していますが、新たに“雨または雪”を追加し、5 種類を提供します。

(2) 降水量の階級の追加

「降水なし」「1～4mm」「5～9mm」「10mm 以上」の 4 階級を提供していますが、「10mm 以上」を「10～14mm」「15～19mm」「20mm 以上」に変更し、6 階級で提供します。

(3) 降雪量の要素と間隔の変更

降雪量の要素は 6 時間降雪量に代えて、3 時間降雪量とし、3 時間間隔で提供します。

(階級については変更なく、「降雪なし」「1～2cm」「3～5cm」「6cm 以上」の 4 階級)

4. 降雪量分布の全国化と通年化

降雪量分布は北海道・東北・北陸の全域、および関東甲信地方、東海地方、近畿地方、中国地方の一部を対象に概ね 12 月 1 日から 3 月 31 日の期間に実施していましたが、全国を対象に、期間も通年で提供します。

5. 領域の追加

小笠原諸島を領域として追加します。

GRIB2 通報式による天気分布予報格子点資料
データフォーマット

令和元年 9 月

気象庁

予報部予報課

データについて

- フォーマットは、国際気象通報式 FM92GRIB 二進形式格子点資料気象通報式（第 2 版）（以下、「GRIB2」という）に則っている。
- 天気分布予報格子点資料は、気温、降水量、降雪量、天気を格納している。
- 要素があらわれる順序は不定である。
- GRIB2 中の作成ステータスを利用して試験を行う場合があるので必ず作成ステータス（第 1 節第 20 オクテット）を参照すること
- ランレングス圧縮に用いるレベルの最大値が対象時刻の最大レベルであり、可変である。
- レベルに対応する代表値は、必ず GRIB2 に埋め込まれたものを利用するようにしてください（変更される可能性があります）。
- その他、格子点数や緯度・経度情報、パラメータ、統計期間、1 データのビット数なども、変更される可能性があります。
- GRIB2 ではビッグエンディアンのデータ並びになっています。
- 負の値は最上位ビットを 1 にすることにより示します。